

2025 年度

テ ー マ 「隣人を大切にして、平和な社会をつくろう」

サブテーマ 「平和ってなんだろう」

【ねらい】戦後 80 年を迎えて、具体的な学びを深める一年となりました。私たちは身近な人たちとの違いをどう理解していくのか、国とは何なのか、戦争を体験している人たちの暮らしから何を学ぶのか、そして今、何によって平和が守られ、何を語り継ぐのか、考える時となりました。

- 4 月 イースター礼拝 説教上田亜樹子師 (日本聖公会東京教区司祭・月島聖公会)【マーガレット】
女性たちは香油を持ちイエス様のお墓に行きましたが、ご遺体はありませんでした。イエス様の言葉を思い出した女性たちは、ご復活を確信し使徒たちに伝えました。いつも主は私たちの近くで見守っておられます。絵本『ルピナスさん』から自分を大切にメッセージくださいました。
- 5 月 お話「差につまずいた時には」酒井順子氏 (エッセイスト・卒業生)【講堂】
目の前に段差がある時どうするのか。段差に背を向け逃げる、そんな選択をすることがあります。人との関わりで戸惑う時、言葉を文字に表すことで、自分に出会い事実に向き合い他者に歩み寄ることができます。在校時代の執筆のご経験、平和に繋がる身近なヒントをくださいました。
- 7 月 お話 早尾貴紀氏 (パレスチナイスラエル研究・東京経済大学教授)【マリア】
戦争や対立は、時に周辺諸国の欲望に引き起こされ、人間は異なる存在を時に見下し、差別意識をもつことがあります。現在も起こっている世界の紛争、戦争、弾圧が、歴史の延長線上にあることを忘れず、メディアに惑わされず、偏りない世界をまず知ることが求められています。
- 9 月 諸宗教を学ぶ 1 年 カトリック麹町教会「聖イグナチオ教会」礼拝体験 【四ッ谷】
2 年 イスラム教モスク「東京ジャーミー」礼拝体験 【代々木上原】
3 年 仏教「臨済宗龍源寺」松原信樹師の法話と坐禅体験 【白金高輪】
- 11 月 お話「戦争があった、笑顔があった」桜木奈央子氏 (フォトグラファー)【マリア礼拝堂】
ウガンダを訪れた際の内戦に衝撃を受け、写真を撮っておられます。現地の人々と食事を共にして、戦火厳しい中にも表情豊かな子どもたちの笑顔や広大な自然があると知りました。幼い子どもが兵士や労働力とされていることを憂い、奨学金や移動映画館、スタディーツアー、国際協力の発信など、支援を続けておられます。
- 12 月 クリスマス礼拝 説教中村淳司祭 (日本聖公会東京教区司祭・聖マリア教会)【マーガレット】
主のご降誕は、弱く小さくされた人たちへの贈り物です。クリスマスは私たちがそのことを覚える日です。み言葉によるお話とお祈り、生徒の奉唱と奉奏でお祝いしました。
- 1 月 ニューイヤーコンサート(東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団)【杉並公会堂】
指揮 梅田俊明氏、ヴァイオリン 前田妃奈氏、コンサートマスター 戸澤哲夫氏
チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op.35、交響曲第 4 番へ短調 Op.36
- 2 月 お話「想像してごらん—平和の担い手となるために—」西原美香子氏
(日本キリスト教協議会副議長)【マリア】
戦争体験者の高齢化により、直接お話を聴く機会が少なくなります。私たちは直接でなくても、語り継ぎで想像力を膨らませ、「悲しむ力」で受け留めることができます。世界中の人が仲良くなることは難しいけれど、仲間という認識を持つことで戦争をなくす第一歩となります。
- 3 月 まとめ 生徒代表者による土曜集会ノート発表と校長先生のお話【講堂】
1 年のプログラムをふりかえり、今の考え、気づき、そして今後の課題をまとめる時間です。代表生徒による土曜集会ノートの発表と校長講話の後、お祈りを捧げました。
- 3 月 合唱交歓会 講師 (国立音大)【講堂】課題曲と自由曲の発表、講師による講評